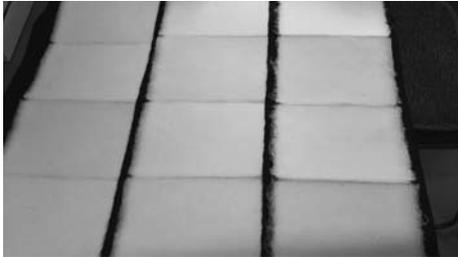
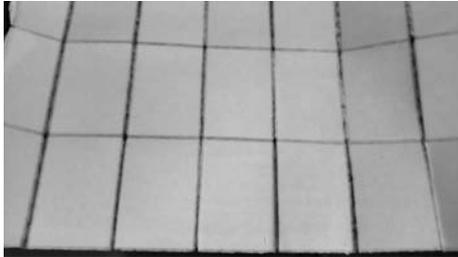


②平成30年度産学共同研究開発支援事業の成果報告

平成30年度の産学共同研究開発支援事業で助成決定しました4社のうち本号では、内外典具帖紙株式会社(いの町)と株式会社愛研化工機(松山市)の成果を報告いたします。

【内外典具帖紙株式会社の研究開発成果】

研究開発テーマ名	四方に長繊維の耳を有する和紙の連続生産技術の開発研究
実施期間	平成30年11月～令和元年8月
企業名	内外典具帖紙株式会社
共同研究機関	高知県工業技術センター 主任研究員 堀川 晃玄
研究開発概要	四方に耳を持つ紙は手漉きに近い方法でしか作ることが出来ないため、大量生産が出来ない。そこで、本研究ではコウゾ等の長繊維を用いて形成材料やその形状や寸法など製造工程の最適化条件の確立を図ることで、抄紙機による長繊維を使った四方耳付き和紙の連続生産技術を開発する。
研究開発成果	<p>今まで四方耳付き和紙は手漉き紙でハガキサイズなら4枚あるいはそれより多少広いサイズでしか販売されておらず、高価であり入手しにくいいため、消費者からは普段使い出来る和紙が求められている。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <p>写真1 抄紙風景</p> </div> <div style="flex: 1; padding-left: 10px;"> <p>今回、最適な不透水素材の選定、抄紙条件等を検討することで、手漉きと同じような四方に美しい耳付きの連続した和紙を機械により量産することに成功した。</p> </div> </div> <p>又シートから紙を剥がすとき耳の美しさを保ちながら最も剥がしやすい和紙が完成した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ア) 絵手紙用、納経帖用</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イ) シール用(裏面糊付け後加工)の四方耳付き和紙</p> </div> </div> <p>写真2 完成製品</p> <p>今回の成果を基に今後は、安価で量販可能な商品としてハガキ、コピー用紙、表彰状等それぞれ大きさや厚みの異なる商品。更に、シールタイプ、それに加えシールの裏に糊付け加工されたものや表彰状タイプ等様々な商品への展開が可能と期待している。</p>